

[担当教員]

三輪康一（教授） 大西一嘉（准教授） 槻橋修（准教授）

[Teaching Assistant（修士1年）]

榎本 瑞樹（A61） 吉野真実（A61） 徳永悠希（A61）

■ 課題の概要

現代都市に暮らす人々にとって、子供を産み育てることは様々な課題がある。要因としては核家族化による地縁の希薄化、女性の社会進出による共働き夫婦の増加、単親世帯の増加などが挙げられる。子育ての負担が親に集中することが、都市でのライフスタイルとの間でストレスを生み、育児ノイローゼや幼児虐待といった招かれざる事態の遠因もなっている。

従来より社会における「発達保障」の場として児童福祉施設は整備されてきているが、現代のような家族観、自然観が多様化する時代において、都市は子供達に、また子供を育てる親たちに、どのような場所を提供すればよいだろうか。本課題では以下に挙げる3つの方向性からひとつを選択し、子供のための空間、都市における福祉のあり方について考えてもらいたい。

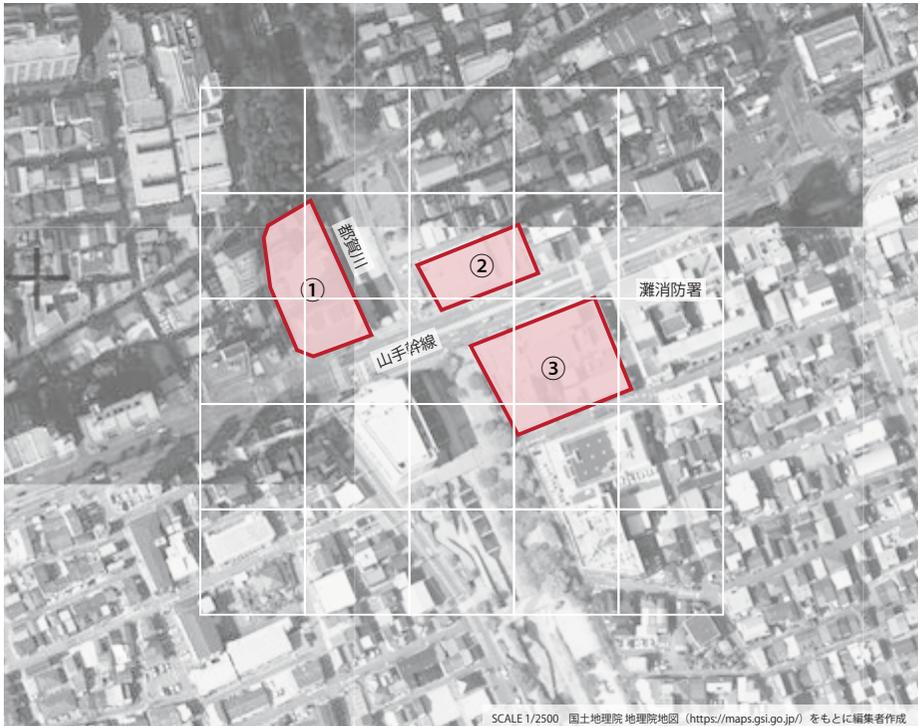
- (1) 次世代をなう児童達が、健やかに育つための支援環境として、自由に利用できる施設。
- (2) 子育てに関わる様々な人が自由に集まり、交流するための施設。
- (3) 乳幼児の発達保障の場、生活空間を提供する施設。

■ 敷地

- (1) 別図に示すような、灘区都賀川沿いの敷地を想定する。
  - ・「児童館」敷地①約 2030 m<sup>2</sup>=東西 30m× 南北 70m(変形あり)
  - ・「子育てカフェ」敷地②約 1550 m<sup>2</sup>=東西 62m× 南北 25m
  - ・「保育所」敷地③約 3100 m<sup>2</sup>=東西 62m× 南北 50m
- (2) 河川公園に隣接する敷地で、周辺は住宅地。

■ 提出図面

- ・用紙 A1判ケント紙（仕上げ自由）
- ・配置図 1/500 or 1/1000 3つの建物外形を屋根伏図で示す。
- ・各階平面図 1/100 一階平面図には、外部空間の計画を明示する。
- ・立面図 1/100 2面以上。
- ・断面図 1/100 設計意図のわかる断面を1面以上。
- ・外観透視図（着色仕上げ）or スケッチ、模型写真でも可



SCALE 1/2500 国土地理院 地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに編集者作成

## The box makes contrastive spaces

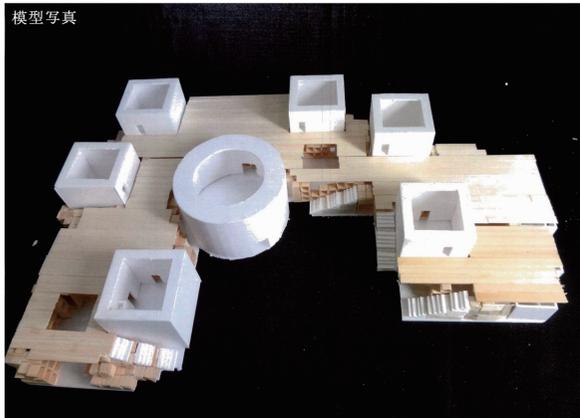
岡田朋大

小さなハコと大きなハコが対照的な空間を生み出す。

積み木のように積まれた小さなハコは、子供だけが入れるスケールで、多様な空間が子供の好奇心を駆り立てる。

大きなハコの空間は、シンプルな空間で、大きな天窓が切り取る空を見ながら子供たちは成長していく。

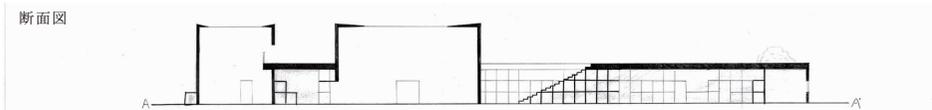
模型写真



平面図



断面図



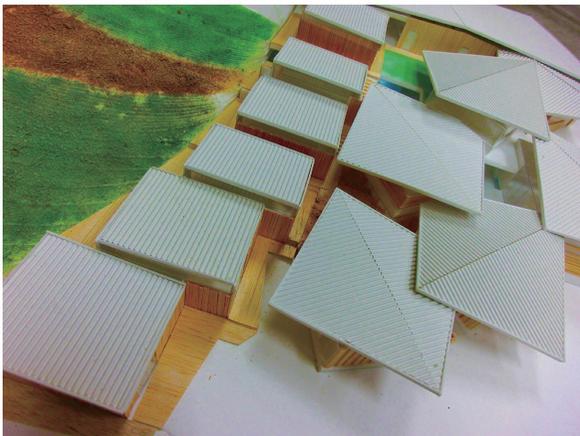
## ソダツバ-こどものための生活空間の提案-

竹川康平

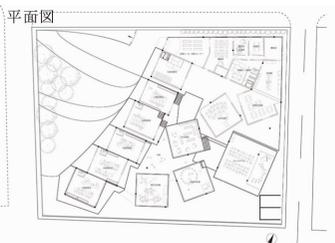
子供は普段の何気ない生活や遊びの中から様々なことを吸収し、学び、育つ。

子供が遊びながら自由に成長できるような保育所を計画したいと考えた。

いろんなものに触れ、様々な表情をもつ保育所を提案した。



平面図



断面図



## みえかくれ - 壁と壁のすき間が生み出す豊かな交流空間 -

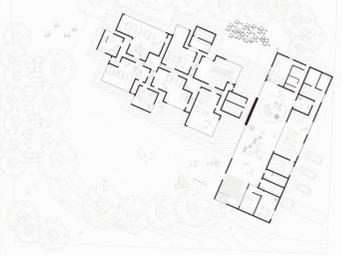
森田久也

「すき間の部屋」をつくることで子供たちのどきどき感、わくわく感を建築空間で具現化する。

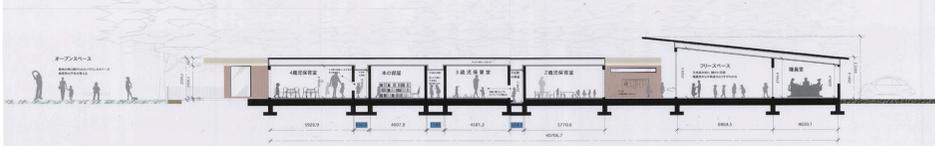
「すき間の部屋」は年齢ごとの保育空間に迷路のような、隠れ家のようにめぐるされ、各部屋につながる大小様々な穴からは子供たちの気配が「みえかくれ」する。



平面図



断面図



## “見える” 保育所

森川潤

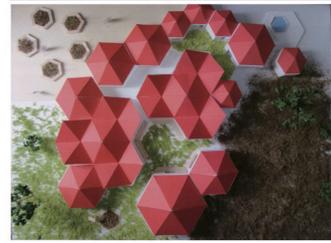
子供は年上の子を見て大人になり、年下の子に見られてさらに成長する。

子供のまわりに様々な関係を生み出し、子供の成長を促す保育所を計画する。

六角形で構成された各部屋は、子供の目に6つの景色を映し出し、彼らは自分を取り巻く様々な環境の中で心身ともに成長していく。



平面図



断面図

